

# 令和7年度 清水西小学校スクールプラン



=校訓= やさしい子 まなぶ子 たくましい子

学校教育目標

**ナイス トライ！ 自信をもって行動する子**

## 【これからの社会】

- ◇VUCAの時代
- ◇人口減少
- ◇DX、AIの進歩
- ◇環境問題
- ◇個々の多様化
- ◇グローバル化
- ◇国際競争と国際協調

## 【令和の日本型教育】

- ◆知・徳・体を一体で育む教育に加え、
- ◇個別最適な学び 協働的な学び
- ◇主体的・対話的で深い学び
- ◇ICT活用で指導充実・校務効率
- ◇子どもの学びを最大限に引き出す教師
- ◇子どもの学びを支援・伴走する教師

## 【めざす学校像】

全員の「ウェルビーイング」の向上

- 児童・安心して笑顔で通える学校
- 保護者・安心して通わせることのできる学校
- 地域・地域の誇りに思える学校
- 教職員・「和」と「働きがい」のある学校

## 【児童の実態 保護者の願い】

- (児) 素直で堅実、真面目、道徳心の高さ
- (児) 自己表現を積極的に行うことが苦手
- (保) 自信をもって取り組んでほしい
- (保) 安定した学力を身に付けてほしい

## 【福井市学校教育目標】

郷土福井に誇りをもち、たくましく生きる子どもの育成

## 【清水中学校区研究テーマ】

ふるさとに学び、未来につなげる子どもの育成

## 重点目標

### やさしい子

- ◎基本的な姿の凡事徹底
- ◎感謝と尊敬のある集団づくり
- ◎読書活動の推進
- ◎異学年との積極的交流

### まなぶ子

- ◎魅力ある授業づくり
- ◎プレゼンテーション教育推進
- ◎自主学習の習慣化
- ◎一人一台端末による授業改善

### たくましい子

- ◎体力づくりへの意欲喚起
- ◎アクティブ教育推進
- ◎規則正しい生活習慣の育成
- ◎教育相談体制の共有・協働

### 地域とともに

- ◎信頼・応援される学校づくり
- ◎ふるさと教育推進
- ◎情報発信と学校公開
- ◎園小・小中との連携推進

## 具体的な取組と数値目標

- 志津っ子しぐさ（二言挨拶・くつろえ・黙想・まなざし・無言清掃）をはじめ、基本的習慣の凡事徹底を図る
- 感謝と尊敬を大切にし、「ありがとう」が自然と聞こえてくるように指導支援を行う
- 心の通い合う温かな学級づくり・たてわり活動を推進する
- 朝読書の徹底と図書室の積極的利用を図る
- 志津っ子グランプリをはじめ、異学年との合同・交流活動を積極的に設定する

- わくわく感があり、トライしたくなる学習課題を設定する
- 話すこと・聞くこと・知ることの楽しさを実感できるプレゼンテーション教育を推進する
- 話し方・聞き方・ノートスタンダード等、学習ルールの確実な定着を図る
- 「自主学習のすすめ」にて有用性を示し、主体的・継続的に取り組むようにする
- ICTを積極的に活用して授業をつくる

- 業間マラソンや外遊びを奨励し、運動好きな児童を増やす
- 野外活動や勤労生産活動の充実を図り、社会性・協調性を養う
- 健康や安全への関心を高めさせ、望ましい生活習慣の育成を図る
- インクルーシブ教育の視点を大切にし、きめ細やかで温かい対応や面談を行い、信頼関係を築く
- 心のアンケート、SCとの連携等、教育相談体制を整えて情報を共有し、協働する

- 保護者との信頼関係が築かれる言葉かけを行うとともに、各情報を発信・受信して相互交流を図る
- 地区や福井の資源から学ぶ中で「ふくい愛」の充実を図る（地域と関わる取組一覧表の活用、アウトドア教育）
- 学校日より、志津っ子ブログ等で積極的に情報を発信する
- 園小中一体で進める接続会議や中学校区教育を推進する
- 見守り活動（PTA・自治連合会）を支援する

- ☆みんなで何かをするのは楽しい（児童100%）
- ☆我が子は、学校生活を楽しくしており、友人関係も良好である（保護者90%）
- いじめ案件が解消している（いじめ解消調査100%）

- ☆授業で学ぶことが楽しい（児童90%）
- ☆我が子は、基礎的・基本的な学習が身に付いている（保護者90%）
- 自主学習への取組が向上している（児童90%）

- ☆運動することは楽しい（児童90%）
- ☆学校は、子どもたち一人一人を大切に、温かく指導している（保護者90%）

- ☆地域やふるさと福井を大切にしたい（児童90%）
- ☆教育方針や教育内容を適切に伝えている（保護者90%）

研究主題 自ら考え、みんなで解決

～「わかった・できた・やってみたい」が生まれる授業づくり～

=教職員のめざす組織体制=

**「笑顔」「感謝」「和」を大切にし、協働する組織体制**

- 教職員が力を合わせ、チーム力を発揮しながら業務や課題に取り組む
- 教職員が「和」のある人間関係の中、専門性や自分らしさを発揮する
- 教職員が有用な業務改善・退庁時刻設定を行い、ゆとりをもって児童と向き合う
- 教職員が「ワーク・ライフ・インテグレーション」を意識して取り組む